## 2023 年度 小倉東篠崎教会 CHURCH COLLEGE Ⅲ

## 生と死を考える JPART2

# いのちの輝気に寄り添り

2024年1月20日(土)午後2時~4時

# 柏木 哲夫 先生 (淀川キリスト教病院)

#### 【講演要旨】

ホスピスという場で、約2500名の患者さんを看取りました。その経験から多くの事を学びました。人は全人的に痛み、全人的に死を迎えます。癌末期の患者さんは身体の痛みだけではなく、不安やうつ状態など、精神的にも辛くなります。人によっては自分で立ち上げた会社の行く末が最も気になります。社会的痛みと言えるでしょう。元気な頃には殆ど気にならなかった死後の世界のことが気になることもあります。霊的痛みと言えるでしょう。

このように複雑な痛みを持っている患者さんのご家族のケアもホスピスの大切な仕事です。「やがて死を迎える」ということが分かった時、家族は患者さんの死を予期して悲しむ「予期悲嘆」を経験します。患者さんが亡くなられた後には、ご家族は「死別後の悲嘆」を経験されます。「予期悲嘆」にも「死別後の悲嘆」にも、専門的なケアが必要です。日本の現状では、この家族のケアが十分ではありません。

この世に生を受けた者は1人の例外もなく、死を迎えます。自分の死について、家族の死について、思いをめぐらせることが大切だと思っています。年に一度、必ず巡ってくる誕生日に死を思うことをおすすめしたいと思います。

#### 【講演プロフィール】

1965 年大阪大学医学部卒業。同大学精神神経科に3年間勤務し、その後3年間、ワシントン大学に留学。1972 年帰国し、淀川キリスト教病院に精神神経科を開設。翌年日本で初めてのホスピスプログラムをスタート。1984年にホスピス開設。副院長、ホスピス長を経て、1993年大阪大学人間科学部教授就任。淀川キリスト教病院名誉ホスピス長。大阪大学定年退官後2004年4月より金城学院大学学長。2007年4月より金城学院学院長を兼務。2013年9月より淀川キリスト教病院理事長。2018年9月より相談役。1964年受洗。日本メノナイトブレザレン教団石橋キリスト教会会員。

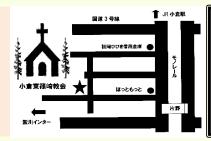


#### 【Church College について】

私たちを取り巻く文化や概念、枠組み、何より「いのち」の根幹にあるものを知ることが、現代の様々な課題解決の道。私たちの生きる意味と方向をキリスト教の知見からその根幹に迫ろうと、2021年にChurch College (教会公開講座)を開講。今回は、私たちに与えられた「いのち」の最後とどう向き合うのか、柏木先生にお話しいただきます。

### 日本基督教団 小倉東篠崎教会

北九州市小倉北区東篠崎 1-2-13 Tel & Fax: 093-951-7199 Mail: hp@higashishinozaki-ch.jp 小倉駅からモノレール乗換、 片野駅下車、徒歩 2 分。



#### 参加無料。 どなたでもどうぞ!! 会場(教会)にて開催 メール又は電話にて、1月17日(水)

までにお申し込みください。